

事業所名		ソレイユ				支援プログラム（参考様式）		作成日		2025	年	10	月	1	日
法人（事業所）理念		一人一人の子ども「たった今」に寄り添いながら、「これから先」の子ども達の姿を見据えて、適切な難易度と適切な支援を組み合わせることで子どもの成長を最大化する、発達の最近接領域を重んじ、支援します。													
支援方針		専 門 性：個別支援計画を重視し、専門士がチームとなって自己効力感を高める関わりを行います。 自 律 性：何かが出来るようになるという目の前の課題よりも、自分のしたいことを選び、達成し、喜びを得ていくことを大切にします。 被援助志向性：必要な援助とそうではない援助の区別をつけ、必要な援助を求めることが出来るようなサポートを行います。 「静 と 動」：「静から動」「動から動」への切り替えをスムーズに行えるような精神面での成長や感覚統合療法をもとに土台作りを行います。													
営業時間			10	時	15	分から	17	時	00	分まで	送迎実施の有無		○あり なし		
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	基本的生活スキルの獲得や生活習慣の獲得等を目指し、心身の健康状態を維持・改善できることを目標とします。													
	運動・感覚	運動、動作を、運動等のプログラムから向上し、更にそれらの感覚統合を行うことによりバランスを整えていきます。													
	認知・行動	対象や外部環境を適切に認知し、適切な行動を習得できるような療育を行います。また、その中でも空間や時間などのつかみづらい概念に対しては、様々な道具を用いるなどの工夫を行った上で、概念が形成できるように支援します。													
	言語 コミュニケーション	言語理解及び言語表出を促す関わりを行います。 職員や子ども達とのやり取りの中から、人と関わることの楽しさを感じられるような介入等を行い、コミュニケーションの基礎的能力の向上を目指します。													
	人間関係 社会性	その時々一人ひとりのお子さんが、自己理解が出来るような介入や言葉かけ、代弁を行いながら、自己と他者との違いを認識できるように導き、その上で仲間づくりや集団への参加がスムーズになるよう支援を行っていきます。													
家族支援		・利用時のフィードバックや保護者様とお話を通じてお子さまの発達状況や支援のニーズの確認 ・様々な不安や困りに寄り添い、相談や助言を行う ・保護者同士の交流の機会の提供						移行支援		・併用利用先(保育園・幼稚園・こども園)とお子様の様子や支援内容の共有					
地域支援・地域連携		・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 ・通園先や併行利用先との情報共有						職員の質の向上		・定期的な職員会議の実施 ・職員の各種勉強会や研修への参加					
主な行事等		・季節の行事(お誕生日会、お花見・ハロウィン・クリスマス、小学校にあがるお友達のお別れ会等) ・季節の制作													